

令和3年度学校評価に係る次年度に向けての改善策

滋賀県立水口東中学校
滋賀県立水口東高等学校

1 学校経営

スクールポリシーの周知を図り、それに基づいた教育活動を行う。ホームページや学年通信等により学校生活についての情報を保護者や地域に積極的に発信する。

全教職員の共通認識に基づいた組織運営ができるよう校務ネットを活用しグループウェアを活用した情報共有を行う。学校の進むべき方向性について様々な機会をとらえて議論し、共通理解を図る。

2 学習指導

来年度から導入される新学習指導要領の趣旨に即し、指導と評価の一体化を図り、目標設定(ゴールイメージ)をしっかりとらせ「主体的に学ぶ授業」で、成長を実感させる。生きてはたらく知識、様々な場面で活用できる思考力・判断力・表現力、自ら学び続ける姿勢を、教員はもとより、生徒自身も意識して取り組めるよう授業改善をしていく。また、一人一台端末の効果的な活用の検討を進めていく。

3 生徒指導

生徒とのコミュニケーションを増やし、いじめや差別を許さない仲間づくりに努める。日常の丁寧な生徒観察やアンケートから、生徒の実態把握といじめの早期発見・早期対応に努める。教職員の人権感覚を磨くとともに、定期的に人権に関するLHR(学活)を実施する。

4 進路指導

個人面談を通じて生徒の志望や状況の把握に努め、目標を明確にする。入試制度や本校の進路指導方針について、進路説明会や保護者懇談会で生徒や保護者の理解を深める。また、定期考査や模試の事前・事後指導を通じて学習履歴を残した振り返りを行い学習習慣の確立を図る。

5 特別活動等

コロナ禍で制約が多いが、感染症のリスク低減を徹底し、学園祭における集団作りや、部活動など自主的な活動を支援していく。新しい実施形態による多彩な活動を検討することで、特別活動の大きな目的である自己肯定感の醸成や集団づくりなど、生徒一人ひとりの成長を図る。

6 学校図書館

生徒の読書に対する関心を高めるため、図書館だよりの発行やレイアウトの工夫を行っていく。また、授業での図書館利用を通じて、読書活動の充実へと結びつけるとともに、本を読むことの有効性について、生徒の心に響くように伝え方を工夫する。

7 保健・安全指導

毎日の検温や健康管理票の記入、手洗い等の感染症対策の基本的な取組について指導を継続し、生徒自身の自己管理能力を高めるために、日々の健康管理の大切さを指導する。また、交通安全指導については、講演会や日々の指導を通して自転車も加害者になり得ることをしっかりと認識させるなど登下校時の交通マナーの向上を図る。

8 人権教育

いじめや差別を許さない仲間づくりに努める。教職員の人権研修を深めるとともに、定期的に人権に関するLHRを実施し、正しい理解に基づいた人権意識の一層の向上を目指す。また、LGBTなどの今日的な課題についても講演会やLHRを実施する。

9 環境教育

日常の校内清掃活動の充実と生徒自らが自らの学習環境を維持向上できるよう指導する。また、省エネなどSDGsの取組とあわせ意識の涵養に努める。

10 事務・管理

危険箇所や劣化している箇所、修繕の必要がある箇所がないかを定期的に点検し、設備等の整備を行い、安全管理に努める。新型コロナウイルス感染症拡大防止のための設備を充実させる。

11 その他学校の取組み

保護者連絡メールの見直しを行い、情報が迅速に伝わるようにしていく。スクールポリシーの策定に伴い、その周知を図り、これまで以上に学校の情報を保護者や地域に積極的に発信していきたい。ICTを効果的に活用し、授業改善に努める。